2008(H20).05.13

関東大会県予選5位決定戦は38－27で逃げ切る

５月１３日（火）１１：４０～鹿嶋市卜伝の郷運動公園で行われた、関東大会県予選の5位決定戦で、日立一高は磯原高と水戸一高の合同チームに前半１７－５、後半２１－２２、計３８－２７で勝ち、新人戦に続いて2大会連続の5位入賞を果たし、県立高校1位の座をキープしました。

この試合も、前半は大きくリードしましたが、副将の益子が脳震盪、豊田が足首の負傷で退場するなどアクシデントが続き、後半だけを見れば２１－２２と苦杯を喫しています。

FW ・ BKともに、技術的にレベルアップしてきたことは間違いありません。地力的には、十分に県内ベスト4の力を身につけていることと思います。

しかし、ラグビーは技術（スキル）だけでは勝つことができません。

これから夏に向けては、６０分間走り続けることのできるスタミナと、６０分間継続できる集中力を身につけることが課題となってきます。

私たちOBも、これまで以上にグランドに足を運び、身をもって現役たちに指導をしていきましょう！！

関東高校大会 県予選

関東高校大会県予選は13日、鹿嶋市卜伝の郷運動公園でラグビーを行い、第1シード茗渓学園、第2シード清真学園がそれぞれ決勝に進んだ。決勝は18日、水戸農高グラウンドで行われる。試合開始は午後0時10分。

ラグビー

▽準決勝

茗渓学園 48－5 東洋大牛久
29 10
19－5

清真学園 33－5 つくば秀英
19 22
14－17

▽5位決定戦

常総学院 57－0 水城
26 0
31－0

日立一 38－21 合同A（磯原・水戸一）
17 27
5－22

（2008．5．14　茨城新聞）